

たきかわCS通信

滝川市教育委員会 教育総務課 令和元年 12月 9日発行



～ 学校支援地域本部事業紹介 ～

東小学校

3年生 社会科授業



【実践例紹介】



今の生活との違いが分かった「滝川の昔の暮らし」



滝川市郷土研究会 会長

椿坂幸夫(つばさか)さん

3年生・5年生 体育科授業

体を動かす楽しさ満喫 「HIP-HOP DANCE」



SUGA DANCE INNOVATION

船越

雅子さん

岡田

啓伸さん



今回は、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育めるよう「地域とともにある学校づくり」を進める「コミュニティ・スクール」の実践例を紹介します。

10月25日(金)コスモスデーの日(全市一斉地域参観日),

滝川市立東小学校の5年生は2時間目、3年生は3時間目に体育科の授業で「HIP-HOP DANCE」をSUGA DANCE INNOVATION船越雅子さん・岡田啓伸さんに教えていただきました。

みんな上手でした!



船越雅子さん・岡田啓伸さん

また、3年生は4時間目の社会科の授業で「昔の暮らし」について、滝川市郷土研究会 会長 椿坂幸夫さんに教えていただきました。

今日は、コスモスデーなので、たくさんの保護者や地域の皆さんにご参観いただきました。皆さんがリズムよく生き生きと踊っている姿やしっかりと話を聞き、意欲的に学習している姿をたっぷり見ていただけたことと思います。

ご参観いただいた皆様、お忙しい中、ご来校いただき、誠にありがとうございました。



椿坂幸夫さん

メモをしつかり取りながら聞く子どもたちに普段の指導体制の良さを、椿坂先生の足がお悪いのに気づかれ、最後まで片付けを手伝って下さったり、一瞬遅延で下さったりした保護者の優しさに大変感動したと何度もおっしゃっていました。嬉しいです。



滝川市立東小学校



堤 雅宏教頭・高羅正次校長

「HIP-HOP DANCE」の様子



まず、正しい姿勢をしましょう。そのために、腰骨をしっかりと立てましょう。



ノリノリのダンスで、とっても楽しかった！



カッコいい振り付けもできるようになったよ！



見ているこちらにも、思わず踊ってしまいたくなる位、熱気にあふれていました。ダンスっていいですね！



腕も膝も、腰も柔軟に、そして、リズムよく動かしましょう。



「HIP-HOP DANCE」は、船越雅子先生の明確で分かりやすいご指導により、子どもたちは、リズムよく軽快に踊っていました。休憩で水分補給に来た時は、汗びっしょりでしたが、どの子も爽やかに清々しい笑顔でした。

お礼の挨拶では、「とても楽しく動けました。今後の生活にもつなげていきたいです。」と身体を動かす楽しさを満喫できたようでした。船越先生も、「子どもたちは、みんな素直で、一生懸命に踊っていました。時間が経つのがとても早く、私自身もすごく楽しい時間でした。」とおっしゃっていました。子どもたちも、先生も楽しさ一杯！充実した時間でした。



昔のくらしの授業

教科書は千円もしたので、皆で回し読みをしたり、ノートの代わりに新聞の白いところに書いたり、鉛筆の代わりに石筆(「ろう」が混じった石のペン)を使ったりしました。

少なかったですが、振り子時計や懐中時計などがありましたよ。

昔は、時計がありましたか？



ふろしきは、生活の知恵から生まれました。色々な大きさがあり、ランドセルの代わりに使っていた子も多かったよ。



昔は、ごはんの代わりにジャガイモやカボチャ、山菜などを主に食べていました。また、お茶碗の代わりに貝がらを使ったり、ハマグリに木をつけて、お玉の代わりに使ったりしていた家庭もありました。そして、家庭にある野菜を学校に持ち寄って、滝川第一小学校の大きな窯でお汁を作って食べたのが、滝川の給食の始まりと言えます。



「昔のくらし」では、樫坂幸夫先生の優しくゆったりとした丁寧な語り口調に、みんな集中し、真剣に話を聞き、大切な所はメモをしていました。実際の教科書や生活道具が出る度に「えーっ！」という驚きの声。今は、普通に持っているランドセルが、昔は、厚紙のランドセルや着物をほどいて作った袋、風呂敷を代わりに使っていたことなどが分かり、今の生活との違いにびっくりしていました。

この授業を通して、私たちの先祖が知恵を働かせながら自然と共存し、みんなで力を合わせ必死に暮らしていたことが伝わり、大変学び多き授業となりました。